

福井県内で近年確認された外来昆虫・暖地性昆虫の分布状況 ～福井市自然史博物館で実施した市民参加型調査「ふくいむしむし 大調査！－昆虫の分布調査 in 福井 2025」の結果を踏まえて～

梅村信哉*1

要旨：2025年8月5日から12月15日に、アカハネオンブバッタ、ムネアカハラビロカマキリ、シタベニハゴロモ、キマダラカメムシ、ヒラズゲンセイ、クビアカツヤカミキリ、ツヤハダゴマダラカミキリ、アカボシゴマダラの8種の昆虫を対象に、福井県内での分布状況を調べるための市民参加型調査を実施した。調査は、対象種の名前、場所、日時、発見者氏名、氏名の公表の可否等の情報と写真を、電子メールまたは専用の投稿用フォームで報告もらうこととした。今回の調査を通して、121件の報告があり、アカハネオンブバッタの県内での急速な分布拡大が明らかになったほか、キマダラカメムシ、ヒラズゲンセイ、アカボシゴマダラではこれまでに生息が確認されていなかった市町での目撃情報が得られた。クビアカツヤカミキリ、ツヤハダゴマダラカミキリは県内での生息情報は得られなかった。この市民参加型調査の結果と、筆者の調査記録に基づき、2025年12月現在での対象種の県内における分布確認状況についてまとめた。

キーワード：外来種、昆虫、市民参加型調査、アカハネオンブバッタ、アカボシゴマダラ、福井県

Shinya UMEMURA*1. 2026. Distribution status of invasive and warm-climate insects recently confirmed in Fukui Prefecture - Based on the results of the citizen participation survey by Fukui City Museum of Natural History -. Ciconia (Bulletin of Fukui Nature Conservation Center) 29:35-45.

A citizen-participation survey was conducted in Fukui Prefecture to investigate the distribution of eight insect species: *Atractomorpha sinensis*, *Hierodula* sp., *Lycorma delicatula*, *Erthesina fullo*, *Synhoria maxillosa*, *Aromia bungii*, *Anoplophora glabripennis*, and *Hestina assimilis* from 5th August to 15th December, 2025. The survey invited participants to report information on the species observed, including their names, locations, dates, observers' names, consent for name publication, and accompanying photographs, via email or a dedicated online submission form. A total of 121 reports were submitted during the survey. It was revealed that the distribution of *A. sinensis* has rapidly expanded within the prefecture, and reports of sightings of the *E. fullo*, *S. maxillosa*, and *H. assimilis* have been received in cities and towns where they had not previously been confirmed to exist. No sightings were recorded for *Ar. bungii*, and *An. glabripennis*. Based on the results of this citizen participation survey and the author's research records, the distribution status of the target species in Fukui prefecture as of December 2025 is summarized.

Key words: alien species, insect, citizen-participation survey, *Atractomorpha sinensis*, *Hestina assimilis*, Fukui Prefecture

はじめに

近年、侵略的外来種が生態系、生物多様性、人の健康・生命および経済活動に好ましくない影響をもたらしていることが報告されており、国際的な協力による対策の必要性が指摘されている（鷲谷・村上2002；環境省自然環境局自然環境計画課生物多様性地球戦略企画室2009）。物流の活発化や地球温暖化の影響で、福井県内においても最近、アカハネオンブバッタ *Atractomorpha sinensis*（梅村ほか2025）やアカボシゴマダラ *Hestina assimilis*（梅村・村上2025）

が確認されるなど、ここ10年余りの間に次々と外来種の昆虫（以下、外来昆虫）、暖地性昆虫の侵入が確認されている（例えば、藤野ほか2010；梅村ほか2013；田埜・黒川2017；梅村・利田2020；一瀬2021など）。今後、特定外来生物に指定されているクビアカツヤカミキリ *Aromia bungii* やツヤハダゴマダラカミキリ *Anoplophora glabripennis* の侵入が懸念されるが、一度定着して勢力を拡大した外来種の根絶は困難を極めている。このような中で、侵略的外来種の侵入をいち早く把握し、初期段階で防除を行っていくことが重要であり、そのためには市民・県民の外来種

* 連絡・別刷請求先 (Corresponding author) E-mail: sumemura@ma.city.fukui.lg.jp

1 福井市自然史博物館 〒918-8006 福井県福井市足羽上町147

Fukui City Museum of Natural History, Asuwakami-cho 147, Fukui, Fukui 918-8006, Japan.

やそれらが引き起こす環境問題に対する興味関心を醸成することが必要である。

上述の背景に立ち、福井市自然史博物館では2024年に大型で目につきやすい外来昆虫・暖地性昆虫の分布情報を収集するための市民参加型調査、「ふくいむしむし大調査！ 昆虫の分布調査 in 福井」（以下、むしむし大調査！）を試行した（梅村 2025a）。2025年も、同調査を継続したので、本稿ではこの調査結果と筆者の野外調査の情報をまとめて、対象とした外来昆虫、暖地性昆虫の福井県内における2025年12月現在の分布状況について報告する。

調査期間ならびに調査方法

「むしむし大調査！」では、見つけやすさ、同定の容易さを考慮し、県内への侵入が確認されている6種の昆虫（アカハネオンブバッタ、ムネアカハラビロカマキリ *Hierodula sp.*、シタバニハゴロモ *Lycorma delicatula*、キマダラカメムシ *Erthesina fullo*、ヒラズゲンセイ *Synhoria maxillosa*、アカボシゴマダラ）を調査対象とした。また、県内では未確認であるが、特定外来生物に指定され、侵入地では果樹や植栽樹など

に被害を及ぼしているクビアカツヤカミキリ、ツヤハダゴマダラカミキリの2種も調査対象とすることで、市民の関心を高めるとともに、これらの早期発見に資するようにした。2025年の調査では、2024年に県内で新たに侵入が確認されたアカハネオンブバッタとアカボシゴマダラを調査対象に加えた代わりに、2024年の調査ではあまり情報が集まらなかったマツヘリカメムシ *Leptoglossus occidentalis* は調査対象から除外した。しかし、本種についても、市民から情報が得られたので、調査結果に反映した。

対象種の実寸大の標本写真、出現期や生息環境などの情報、県内での分布確認状況、種の同定のポイントなどを示したリーフレット（図1）のPDFを福井市自然史博物館のホームページに掲載するとともに、印刷したリーフレットを同館友の会会員および昆虫ボランティアスタッフ、同館主催の昆虫関係の講座の参加者に配布し、一部を同館内に配架することで調査協力を呼びかけた。さらに、福井市自然史博物館は2024年7月4日に福井県立大学生物資源学部と「環境保全に関わる教育研究のためのパートナーシップ協定」を締結したことから、同大学の深尾武司教授と角田智詞准教授にリーフレットPDFを送付し、

**ふくいむしむし大調査！
昆虫の分布調査 in 福井 (2025)**

福井県内で8種の昆虫を対象に分布調査を行います。対象の昆虫を見つけたら、右の二次元バーコードを読みとって情報をお知らせください。

【目的】 この調査では、下記の昆虫を対象に、市民の皆さんと一緒に県内の分布状況調べるとともに、特定外来生物に指定されている昆虫の県内への侵入をいち早く把握し、早期に防除して定着を防ぐことを目的とします。

【期間】 2025年8月5日～2025年12月15日

【方法】 対象種の昆虫を福井県内で見つけたら、スマートフォンのカメラで写真を撮影し、上の二次元バーコードから情報を記入してお送りいただくか、下記アドレスに見つけた場所、日時の情報と一緒に写真をお送りください（写真のサイズは5MB以下にしてください）。

【メール宛先】 sizen@city.fukui.lg.jp *メール件名は「昆虫分布調査」としてください。

【調査対象】 アカボシゴマダラ、クビアカツヤカミキリ、ツヤハダゴマダラカミキリ、アカハネオンブバッタ、ムネアカハラビロカマキリ、シタバニハゴロモ、キマダラカメムシ、ヒラズゲンセイ

【お願い】 上記の昆虫を見つけたら、標本を福井市自然史博物館までお届けいただけると大変ありがたいです（謝礼はお出しできません）。ただし、アカボシゴマダラ、クビアカツヤカミキリ、ツヤハダゴマダラカミキリは特定外来生物に指定されており、生きだまま持ち帰ることが禁止されておりますので、必ず殺菌して（踏みつけるなどして）からお届けください。また、ヒラズゲンセイは有毒なので、素手でさわらないでください。

各調査対象種の解説



アカハネオンブバッタ

- 大きさ：70-85mm
- 成虫が見られる時期：5-10月
- 生息環境：市街地～里山

県内の分布確認状況

標本・文献に基づく確認情報



ムネアカハラビロカマキリ

- 大きさ：22-38mm
- 成虫が見られる時期：6-8月
- 生息環境：公園、市街地など

県内の分布確認状況

今後、侵入予定するおそれあり



シタバニハゴロモ

- 大きさ：20-42mm
- 成虫が見られる時期：7-11月
- 生息環境：公園、河川敷、里山など

県内の分布確認状況

標本・文献に基づく確認情報



ヒラズゲンセイ

- 大きさ：10-20mm
- 成虫が見られる時期：7-11月
- 生息環境：公園、農地、河川、林、海洋、庭など

県内の分布確認状況

標本・文献に基づく確認情報



キマダラカメムシ

- 大きさ：20-23mm
- 成虫が見られる時期：4-11月
- 生息環境：公園、庭、市街地など

県内の分布確認状況

標本・文献に基づく確認情報



クビアカツヤカミキリ

- 大きさ：70-85mm
- 成虫が見られる時期：5-10月
- 生息環境：市街地～里山

県内の分布確認状況

標本・文献に基づく確認情報

特定外来生物とは
もともと日本にいなかった生物（外来生物）のうち、生態系、人の生命や身体、農林水産業に被害を及ぼすもので、外来生物法に基づき指定される。特定外来生物に指定されると、飼育・繁殖・運搬（生きた状態での）、輸入・販売・譲渡、野外に放すことなどが原則禁止される。
＜例＞アライグマ、ワシソウ、オオコウモリ、コクサシ、フクロキリ、ヒアリ、ウチタリカニ、オオセンチコガネなど

* 大きさはチョウでは、開張（左右の前ハネを開いたときの長さ）、その他の昆虫では体長（頭～腹の先端の長さ）で表しています。



アカハネオンブバッタ
● 大きさ：20-42mm
● 成虫が見られる時期：7-11月
● 生息環境：公園、河川敷、里山など

ムネアカハラビロカマキリ
● 大きさ：64-83mm
● 成虫が見られる時期：9-11月
● 生息環境：公園、林の近くなど

シタバニハゴロモ
● 大きさ：10-20mm
● 成虫が見られる時期：7-11月
● 生息環境：公園、農地、河川、林、海洋、庭など

キマダラカメムシ
● 大きさ：20-23mm
● 成虫が見られる時期：4-11月
● 生息環境：公園、庭、市街地など

分布拡大種、ヒラズゲンセイを捜せ！
素手でさわらないで！！

ヒラズゲンセイは、たやみんから毒を分泌し、これが皮膚につくと、赤く腫れ上がる毒を分泌します。体毛が抜けると、すぐに水で洗い流しましょう。

● 大きさ：18-33mm
● 成虫が見られる時期：6-8月
● 生息環境：林の近く、公園、庭など

調査対象昆虫のより詳しい解説はこちら（ただし、アカボシゴマダラは未掲載）

図1 「ふくいむしむし大調査！～昆虫の分布調査 in 福井 2025～」紹介リーフレット。

学生への周知と調査協力をお願いした。さらに、福井県自然観察指導員の会事務局の齋藤寿子氏にリーフレット PDF を送付し、同会会員への調査の周知と協力をお願いした。

調査協力者には、対象の昆虫を発見した際に、種名、場所、日時、発見者氏名、氏名の公表の可否、対象の昆虫を見つけた際に気付いたこと（周りの環境など）を記載の上、発見した昆虫の写真を添付して Google Forms を利用した投稿用フォーム（図 2）または、所定の電子メールアドレスに報告いただいた。報告されたデータは、著者が画像をすべて確認した。

対象種を発見した場合、可能であれば標本を福井市自然史博物館に届けてもらえるようお願いした。ただし、ヒラズゲンセイは有毒であるため素手でさわらないこと、アカボシゴマダラ、クビアカツヤカミ

キリ及びツヤハダゴマダラカミキリは特定外来生物に指定されており、生きてそのまま持ち運ぶことが外来生物法（特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律）で禁止されているため、万が一見つけた場合には踏みつけるなどして殺傷してから届けていただけるようお願いした。

調査は 2025 年 8 月 5 日～12 月 15 日の期間で実施することとしたが、それ以降に寄せられた情報も本稿では採用した。

結果および考察

2025 年の「むしむし大調査！」では 121 件の昆虫の目撃情報が得られた。種類別にみると、アカハネオンブバッタ 68 件、ムネアカハラビロカマキリ 10 件、シタベニハゴロモ 20 件、キマダラカメムシ 19 件、ヒラズゲンセイ 1 件、ツヤハダゴマダラカミキリ 1 件、アカボシゴマダラ 2 件であり、クビアカツヤカミキリの報告はなかった（図 3）。また、今年は調査対象としなかったものの、マツヘリカメムシの目撃報告も 1 件得られた。なお、2025 年 7 月 2 日に福井市みのみりでツヤゴマダラカミキリとして報告された情報は、写真を確認したところ在来種のゴマダラカミキリ *Anoplophora malasiaca* であった。

今年の「むしむし大調査！」の結果の詳細を表 1 に、福井市自然史博物館に収蔵されている調査対象種の標本情報を表 2 に示した。なお、これらの表ではマツヘリカメムシの情報も加えた。さらに、本調査の結果と過去の文献、福井市自然史博物館に収蔵されている標本のデータに基いた、アカハネオンブバッタ、ムネアカハラビロカマキリ、シタベニハゴロモ、キマダラカメムシ、ヒラズゲンセイ、アカボシゴマダラ、マツヘリカメムシの県内での市町別の分布確認状況を 2024 年 12 月現在と 2025 年 12 月現在で比較し、図 4～10 に示した。以下に、2025 年の「むしむし大調査！」と筆者の調査の結果に基づき、種別の分布拡大状況について記述する。

(1) アカハネオンブバッタ

本種は、2024 年に県内で初確認され（梅村ほか 2025）、2024 年時点では福井市、鯖江市、敦賀市、小浜市、おおい町で標本が採集されていたが、2025

ふくいむしむし大調査！昆虫の分布調査 in 福井 2025

B I U E X

この調査では、下記の昆虫を対象に市民の皆さんと一緒に福井県内の分布状況を調べていくことを目的とします。

調査対象：アカボシゴマダラ、クビアカツヤカミキリ、ツヤハダゴマダラカミキリ、アカハネオンブバッタ、ムネアカハラビロカマキリ、シタベニハゴロモ、キマダラカメムシ、ヒラズゲンセイ

見つけた昆虫の種類 *

アカボシゴマダラ

クビアカツヤカミキリ

ツヤハダゴマダラカミキリ

アカハネオンブバッタ

ムネアカハラビロカマキリ

シタベニハゴロモ

キマダラカメムシ

ヒラズゲンセイ

見つけた対象昆虫の写真をアップロードしてください（アカハネオンブバッタの写真は、後 * ばねが見えるようにして撮影してください）

📎 ファイルを追加

📁 フォルダを表示

その昆虫を見つけた日にち *

年 月 日

その昆虫を見つけた場所（〇〇市××町） *

短文回答

調査者氏名 *

短文回答

調査者氏名の公表の可否（論文などで調査成果をする際に調査協力者として名前を記載してよいかな）

はい

いいえ

図 2 「ふくいむしむし大調査！～昆虫の分布調査 in 福井 2025～」投稿用フォーム。

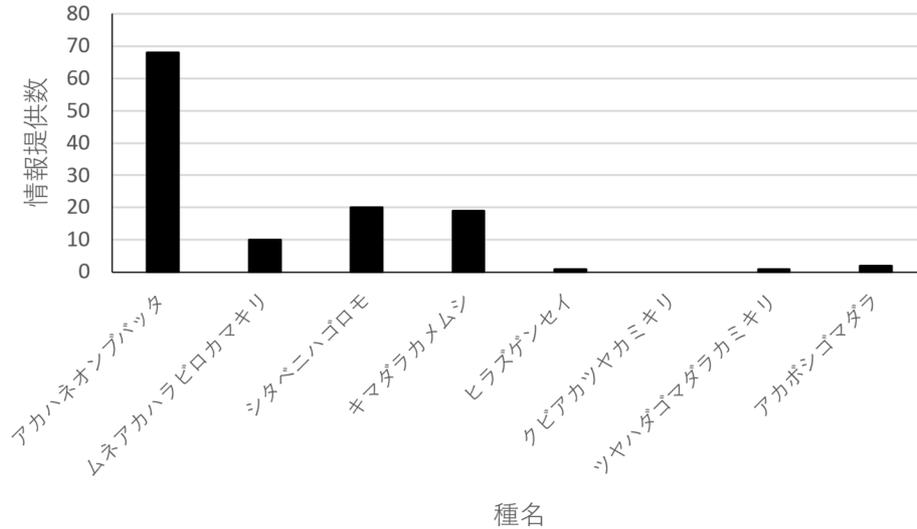


図3 ふくいむしむし大調査！における対象種別の情報提供数の比較

表1 「ふくいむしむし大調査！ 昆虫の分布調査 in 福井 2025」により得られた昆虫の目撃情報

種名	市町	目撃情報	
アカハネオンブバッタ	あわら市	北潟(11.X.2025-標本有);次郎丸(11.XI.2025-標本有)	
	坂井市	春江町(19.X.2025-標本有);春江町随応寺東(11.X.2025-標本有);春江町東太郎丸 福井県児童科学館敷地内(8.XI.2025-標本有);丸岡町楽間 福井県総合グリーンセンター(27.IX.2025-標本有);丸岡町高柳(19.X.2025-標本有);丸岡町羽崎(29.VI.2025(幼虫・成虫)-標本有)	
	福井市	足羽山(12.VII.2025-標本有;10.X.2025-標本有;30.X.2025);幾久(X.2025-標本有);石橋町(1.X.2025);開発(X.2025-標本有);学園2丁目 丹鳥公園(23.IX.2025, 28.IX.2025, 2.X.2025, 6.X.2025, 11.X.2025, 13.X.2025, 18.X.2025, 20.X.2025, 26.X.2025, 2.XI.2025, 8.XI.2025, 16.XI.2025, 22.XI.2025, 29.XI.2025, 6.XII.2025(幼虫・成虫), 13.XII.2025(幼虫・成虫), 20.XII.2025, 29.XII.2025);花月5丁目(20-IX-2025-標本有);毛矢1丁目(22.IX.2025-標本有, 25.IX.2025, 27.IX.2025-標本有, 28-IX-2025, 29-IX-2025, 6.X.2025-標本有, 7.X.2025-標本有, 11.X.2025, 12.X.2025, 15.X.2025-標本有, 18.X.2025, 19.X.2025, 23.X.2025, 2.XI.2025, 3.XI.2025, 7.XI.2025);城東4丁目 ロボット公園(15.X.2025-標本有);月見5丁目 カルチャーパーク(10.X.2025-標本有);中央1丁目 福井駅周辺(13.X.2025-標本有);灯明寺1丁目 明新小学校周辺(17.X.2025-標本有);灯明寺4丁目(3.X.2025-標本有, 6-9.X.2025-標本有);徳光町(28.X.2025-標本有);西谷町(28.XI.2025-標本有);八幡山(10.X.2025-標本有);松本4丁目 尾上幼稚園(11.X.2025-標本有);御幸4丁目 和田公園(13.X.2025-標本有);若杉1丁目 若杉中央公園(10.X.2025-標本有);和田東(11.X.2025-標本有)	
	永平寺町	松岡室 松岡公園(28.VI.2025-標本有)	
	鯖江市	鯖江市東鯖江1丁目(9.X.2025)	
	越前市	高瀬2丁目 武生中央公園(4.XI.2025-標本有)	
	南越前町	牧谷(16.XI.2025-標本有)	
	ムネアカハラビロカマキリ	福井市	足羽山(1.XI.2025-標本有, 26.XII.2025-標本有);脇三ヶ町(28.IX.2025-標本有)
		鯖江市	西山公園(28.VIII.2025;27.IX.2025)
		敦賀市	岩籠山(15.VII.2025(幼虫));樫曲(6.VIII.2025(幼虫);24.VIII.2025);天筒山(31.VII.2025(幼虫));刀根(2.IX.2025)
シタベニハゴロモ	あわら市	市姫1丁目(2.X.2025);北潟 夢ぐるま公園(13.VIII.2025)	
	坂井市	丸岡町楽間 福井県総合グリーンセンター(21.VIII.2025, 3.IX.2025);三国町(16.VIII.2025);三国町緑ヶ丘4丁目(18.X.2025)	
	福井市	西木田3丁目(1.IX.2025);花堂中2丁目(20.IX.2025)	
	勝山市	昭和町1丁目 勝山市立成器西小学校(27.VIII.2025, 1.X.2025)	
	鯖江市	上野田町(13.IX.2025)	
	越前町	厨71字北布山(31.VII.2025-標本有);厨 道の駅越前(9.VIII.2025)	
	越前市	村国山(29.VIII.2025)	
	南越前町	広野 広野ダム(21.VIII.2025)	
	池田町	稲荷(14.VIII.2025-標本有)	
	敦賀市	樫曲(6.VIII.2025);金ヶ崎(7.VIII.2025);野坂(8.IX.2025)	
キマダラカメムシ	若狭町	井ノ口(3.X.2025)	
	坂井市	丸岡町楽間 福井県総合グリーンセンター(21.VIII.2025(幼虫))	
	福井市	足羽1丁目(28.XI.2025-標本有);江守の里(2.X.2025, 20.X.2025);木田町(7.IX.2025);灯明寺4丁目(3.X.2025);宝永1丁目 松ヶ枝公園(24.X.2025)	
	勝山市	旭毛屋町(29.VII.2025-標本有);昭和町1丁目 勝山市立成器西小学校(7.X.2025)	
	大野市	美川町 三角公園(13.X.2025-標本有)	
	越前市	あおぼけ町(18.VIII.2025-標本有);国高1丁目 国高小学校(3.IX.2025)	
	敦賀市	新和町(8.IX.2025(幼虫・成虫));角賀町(5.V.2023);みどりヶ丘町(12.IX.2025);山泉(7.X.2025, 13.X.2025)	
	美浜町	久々子(9.X.2025)	
	小浜市	南川町(28.VIII.2025)	
	ヒラズゲンセイ	小浜市阿納尻 広域基幹林道(3.VII.2025)	
アカボシゴマダラ	福井市	杉谷町 城山(22.VIII.2025)	
	越前市	片屋町(14.VIII.2025)	
マツヘリカメムシ	福井市	石橋町(8.X.2025)	

表2 福井市自然史博物館に収蔵されている調査対象昆虫の標本情報

種名	市町	標本情報	
アカハネオンブバッタ	あわら市	北潟(1♂1♀, 11.X.2025;1♂1♀, 14.X.2025);次郎丸(1♂2♀, 11.XI.2025)	
	坂井市	春江町(1♂1♀, 19.X.2025);春江町随志寺東(1♂1♀, 11.X.2025);春江町東太郎丸 福井県児童科学館敷地内(4♂4♀, 8.XI.2025);丸岡町羽崎(1♂1♀, 29.VI.2025);丸岡町楽間 福井県総合グリーンセンター(2♀, 27.IX.2025);丸岡町高柳(1♂1♀, 19.X.2025);三国町山岸(1♂1♀, 14.X.2025)	
	福井市	足羽山(1♀, 12.VII.2025;1♂, 26.IX.2025;1♀, 10.X.2025;1♀, 30.X.2025);幾久(1♂, X.2025);今市町(2♀, 28.X.2025);大手1丁目 福井駅周辺(1♀, 13.X.2025);大手3丁目 順化小学校(1♂2♀, 22.X.2024);開発(2♀, X.2025);花月5丁目(1♂, 20.IX.2025);毛矢1丁目(1♂, 22.IX.2025;1♀, 27.IX.2025;1♀, 2.X.2025;1♂1♀, 7.X.2025;2♀, 15.X.2025);城東4丁目 ロボット公園(1♂1♀, 15.X.2025);末町(2♂2♀, 12.X.2024;1♂2♀, 24.X.2024;1♂1♀, 17.X.2025);大願寺公園(4♀, 11.X.2024);月見5丁目 カルチャーパーク(1♂1♀, 10.X.2025);灯明寺1丁目 明新小学校付近(1♀, 17.X.2025);灯明寺4丁目(1♀, 3.X.2025;1♂2♀, 6-9.X.2025)徳光町(2♀, 28.X.2025);西谷町(1♀, 28.XI.2025);八幡山(1♂, 10.X.2025);福2丁目(1♀, 2.XII.2024);松本4丁目 尾上幼稚園(2♀, 11.X.2025);御幸4丁目 和田公園(1♂1♀, 13.X.2025);御幸4丁目 和田公民館付近(1♀, 27.X.2024);両橋屋町 三里浜(1♂, 11.VII.2025;1♀, 28.IX.2025;1♂1♀, 10.X.2025;1♀, 24.X.2025);若杉1丁目 若杉中央公園(1♂1♀, 10.X.2025);若杉4丁目(1♀, 1.X.2025);和田東(1♀, 11.X.2025)	
	永平寺町	松岡室 松岡公園(1♀, 28.VI.2025)	
	鯖江市	日の出町 籍陰小学校(3♀, 15.X.2024)	
	越前町	小曾原 越前陶芸村敷地内(1♂, 27.X.2025);気比庄(1♀, 1.X.2025)	
	越前市	高瀬2丁目 武生中央公園(1♀, 4.XI.2025);帆山町 日野川右岸河川敷(2♂1♀, 6.X.2025)	
	南越前町	牧谷(2♀, 16.XI.2025);牧谷 日野川右岸河川敷(2♀, 11.X.2025)	
	敦賀市	杵見 敦賀市総合運動公園(3♂, 31.X.2024);横浜(1♂1♀, 27.X.2025)	
	若狭町	食見(2♀, 24.IX.2025)	
	小浜市	南川町(1♂, 27.X.2024)	
	おおい町	鹿野(3♂, 3.XI.2024)	
	ムネアカハラビロカマキリ	福井市	足羽山(1♀, 22.VII.2023;1♀, 4.XI.2024;1♂, 1.XI.2025;1♀, 6.XII.2025;1♀, 26.XII.2025);安波賀町(1♂, 24.IX.2024);安波賀中島町(1♀, 6.IX.2024);城戸ノ内町(1♀, 12.X.2024);東郷地区(1♀, X.2024);脇三ヶ町 福井市少年自然の家(1ex., 28.IX.2025)
		シタベニハゴロモ	あわら市 吉崎(1♂1♀, 10.X.2013;1♂1♀, 1.VIII.2014;1♂1♀, 20.IX.2014;3exs.(幼虫), 16.V.2016;1♂2♀, 11.IX.2016)
		坂井市	丸岡町女形谷(3♂2♀, 5.XI.2017);丸岡町楽間 福井県総合グリーンセンター(3♀, 17.X.2017;2♂3♀, 28.X.2017;1♀, 3.VIII.2018;1♀, 21.X.2018);三国町黒目(1♀, 14.IX.2023;1♀1ex.(幼虫), 21.VII.2024);三国町山王(1♀, 12.IX.2021)
福井市		足羽山(4♀, 11.X.2017;1ex.(幼虫), 17.V.2018;1ex.(幼虫), 4.VI.2018;1♂, 28.VII.2018;1♀, 17.VIII.2020;1♀, 3.IX.2021);大芝山(1ex.(幼虫), 13.VII.2020;1♀, 24.VIII.2020);大年町 本郷小学校(1ex.(幼虫), 1.VII.2020);栗崎町 松尾神社(1♀, 3.X.2020);笹谷町(1ex.(幼虫), 10.V.2024;1ex.(幼虫), 5.VI.2024);月見(1♀, 30.IX.2019);月見3丁目 豊小学校(1♀, 28.VII.2017;2♂2♀2exs.(幼虫), 30.VII.2017;3♀, 26.VIII.2017);西畑町(1♂1♀, 16.IX.2023);八幡山(2exs.(幼虫), 14.V.2018;1ex.(幼虫), 17.VI.2018);福2丁目(1♀, 26.IX.2018)	
永平寺町		市荒川(2♂1♀, 15.IX.2019);上合月(2♂4♀, 28.X.2017;1♀, 21.X.2018);諏訪間(4♀, 28.X.2017);松岡兼定島(1♀, 5.X.2018);松岡室 松岡古墳(1♂, 15.X.2017)	
勝山市		長尾山(3♀, 20.VIII.2018);本町(2♀, 20.VIII.2018);元町3丁目(3♂6♀, 12.XI.2024)	
大野市		中島(1♀, 24.IX.2021;1♂, 27.IX.2025)	
鯖江市		旭(1♀, 22.IX.2019);石田下町(1♂, 3.VIII.2024);桜町(1ex.(幼虫), 1.VIII.2020)	
越前町		乙坂(1♀, 19.IX.2022;1♂, 24.IX.2022);厨71字北布山(1ex., 31.VII.2025)	
越前市		村国山(1♂, 26.VIII.2017;1♀, 23.IX.2017);湯谷町(1♀, 12.XI.2022)	
南越前町		今泉 熊野神社(2♀, 21.VIII.2021);宇津尾(1♀, 19.XI.2022);河野(3♂8♀, 16.X.2021)	
池田町		稲荷(1♂, 14.VIII.2025)	
敦賀市		赤崎(1♂, 19.IX.2021;1♂, 20.IX.2021;1♀, 21.IX.2021);横浜(2♀, 16.X.2021;2♀, 19.X.2021)	
福井市		明里町(1ex., 22.X.2021);足羽1丁目(1ex., 28.XI.2025);足羽2丁目 足羽公民館(1ex., 22.VI.2022);足羽3丁目(1ex., 14.XI.2022);足羽3丁目 足羽小学校(2exs.(幼虫・成虫), 24.VIII.2024);足羽山(1ex.(幼虫), 5.VIII.2021;1ex., 25.XI.2021;1ex., 26.VI.2022;1ex.(脱皮殻), 3.IX.2022;1ex., 22.X.2022;2exs., 26.X.2022;1ex., 29.IV.2023;1ex., 22.VII.2023);一乗滝(1ex., 11.X.2024);江守の里(1ex., 15.X.2024);大手(1ex., 14.IX.2023);春日3丁目 一本木公園(1ex., 3.VI.2023);木田町(1ex., 23.VIII.2024);経田1丁目(19exs.(幼虫・成虫), 23.VII.2024);毛矢(1ex., 2.IV.2020;1ex., 8.V.2020;1ex., 24.V.2020;1ex., 5.VI.2020;1ex., 10.IX.2020;1ex., 23.IX.2020;4exs., 21.XI.2020;2exs., 24.X.2023;1ex., 1.XI.2023;1ex., 2.XI.2023);毛矢1丁目(1ex., 4.X.2020;2exs.(幼虫), 17.XI.2020;1ex., 18.XI.2020;6exs., 21.XI.2020);月見町(1ex., 8.XI.2021);灯明寺4丁目(1ex., 3.X.2025);西木田(2exs., 21.XI.2020);新田塚(1ex., X.2019;1ex., 2.VI.2020;1ex., 5.VI.2020;1ex., 18.VI.2020;1ex., 23.VI.2020;1ex., 27.VI.2020;1ex., 22.IX.2021;1ex., 19.X.2021);二の宮(1ex., 21.IX.2024);松本3丁目 宝永小学校(1ex., 13.IX.2024);水越 東安居小学校(1ex., 12.VII.2021);門前町(1ex., 14.VIII.2024;1ex.(幼虫), 16.VIII.2024);有楽町(1ex., 9.XI.2022)	
勝山市		旭毛屋町(1ex., 29.VIII.2025);北谷町(1ex., 31.X.2024)	
大野市	美川町 三角公園(9exs.(幼虫・成虫), 13.X.2025)		
鯖江市	小黒町 西山公園西山橋(1ex., 9.X.2024)		
越前市	高瀬2丁目(1ex., 4.IX.2024)		
敦賀市	杵見 敦賀市総合運動公園(1ex., 16.X.2021);敦賀市内(1ex., 5-6.VIII.2025)		
越前市	愛宕山(1♂1♀, 15.VIII.2025;1♂, 1.X.2025)		
アカボシゴマダラ	坂井市	三国町崎 休暇村越前三国(1ex., 1.X.2024)	
マツヘリカメムシ	福井市	足羽山(2ex., 30.XI.2019;1ex., 15.X.2021;1ex., 28.X.2021;1ex., 5.XI.2021;1ex., 7.XI.2021;1ex., 16.XI.2021;1ex., 2.XII.2021;1ex., 4.XII.2021;1ex., 18.XII.2021;1ex., 16.IV.2022;1ex., 5.IV.2024);毛矢(1ex., 2.XI.2023);笹谷町(1ex.6.IV.2024);福2丁目(1ex., 3.IV.2024);両橋屋町 三里浜(1ex., 10.X.2025;1ex., 24.X.2025);若杉(1ex., 31.X.2020)	
大野市	南六呂師(4exs., 17.XI.2022)		
敦賀市	気比の松原(1ex., 16.X.2021);敦賀市内(1ex., 20-21.X.2021)		

年の調査で大幅な分布拡大が確認された(図4)。嶺北地方ではあわら市、坂井市、福井市、永平寺町、鯖江市、越前市、南越前町で目撃情報が得られるとともに、標本が採集されている(表1, 2)。特に、福井市内では福井駅周辺のような市街地から三里浜のような海浜地域でも本種が確認され、2024年には確認できなかった毛矢町(八木正邦氏 私信)や足羽山でも確認されるなど、本種の日撃情報が多数得られた。

加えて、筆者は越前町でも10月1日に気比庄、10月27日に小曾原の越前陶芸村敷地内で本種を採集しており、嶺北地方では勝山市、大野市、池田町を除くすべての市町へ本種が分布を拡大したことが確認された。また、2025年の「むしむし大調査!」では、嶺南地方で本種の日撃情報は得られなかったものの、筆者が9月24日に若狭町食見で本種を採集している。

県外では野外で本種と在来種のオンブバッタ *A. lata* の交尾が観察されており、両種の間では繁殖干渉が起こっているおそれが指摘されているが(松本2014)、福井市学園2丁目の丹鳥公園では、アカハネオンブバッタとオンブバッタの求愛行動が観察された(佐藤星奈・佐藤 翠氏 私信)。アカハネオンブバッタの分布が拡大しており、さらに本種の在来のオンブバッタへの求愛行動が観察されたことから、今後、県内でもアカハネオンブバッタの分布拡大、個体数の増加に伴い、在来種のオンブバッタに影響が及ぶことが懸念される。

また、アカハネオンブバッタは本州、四国の各県では、7~11月の成虫の確認事例が報告されている(市川ほか2013;山崎ほか2016;神吉2019;上地2022)が、福井市学園2丁目の丹鳥公園では、2025年12月29日まで成虫が確認されたほか、12月6日およ

び13日に本種の幼虫と思われるものが見つまっている(佐藤星奈・佐藤 翠氏, 私信;図11)。本種は、南西諸島では周年発生するとされているが(加納ほか2016)、侵入先の本州では越冬態が定まっていないのかもしれない。

(2) ムネアカハラビロカマキリ

本種は、敦賀市中池見(藤野ほか2010)と福井市足羽山(梅村・小寺2023)で文献記録があり、2024年の「むしむし大調査!」では福井市、鯖江市、敦賀市での目撃情報が得られた(梅村2025a)が、2025年も福井市、鯖江市、敦賀市以外からの目撃情報はなく、市町単位での確認状況は2024年と変化がなかった(図5)。しかし、2024年は敦賀市では中池見での目撃情報があったのみであったが、2025年は中池見周辺の檜曲、天筒山に加え、岩籠山や刀根での目撃情報もあり(表1)、敦賀市内で本種が分布域を拡大していることが窺われる結果となった。

(3) シタバニハゴロモ

本種は、2024年「むしむし大調査!」終了時には嶺北のすべての市町で分布が確認されており、敦賀市での文献情報(茅田2021)や標本に基づく記録及び目撃情報と、美浜町、若狭町での目撃情報があった(梅村2025a)。池田町では本種の日撃情報があるのみであったが、2025年には、池田町稲荷で採集された本種の標本が当館に収蔵された(表2)。また、2025年の「むしむし大調査!」では、2024年の調査では目撃情報がなかった敦賀市野坂や、若狭町井ノ口での目撃情報が得られ(表1)、本種が嶺南地方でも分布域を広げていることが窺われる結果となった。し

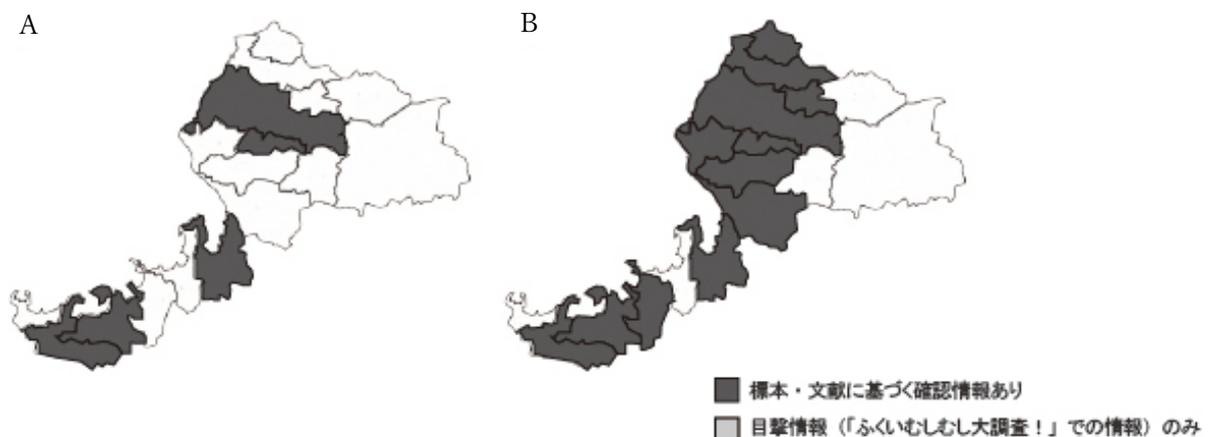


図4 アカハネオンブバッタの分布確認地点の比較 (A: 2024年, B: 2025年)。

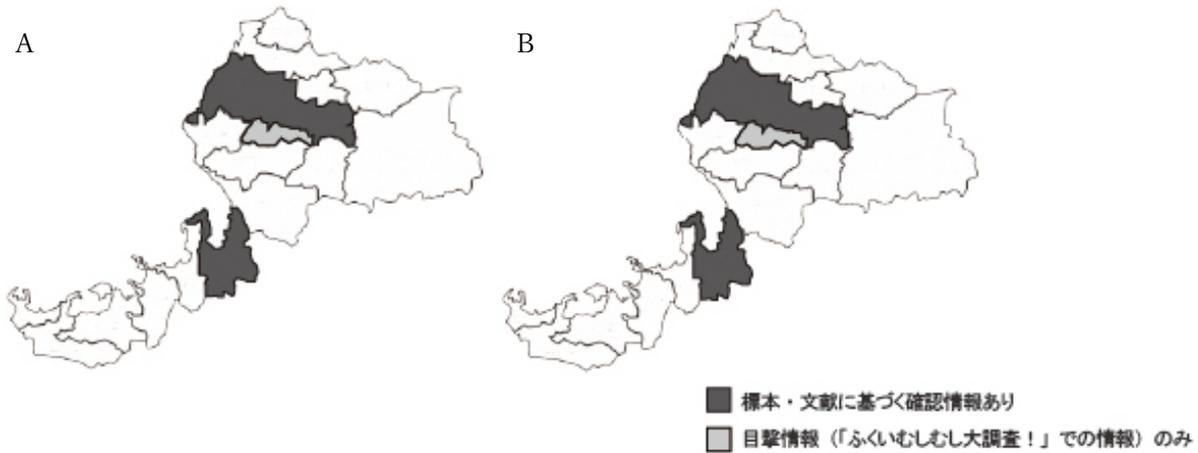


図5 ムネアカハラビロカマキリの分布確認地点の比較 (A : 2024 年, B : 2025 年).

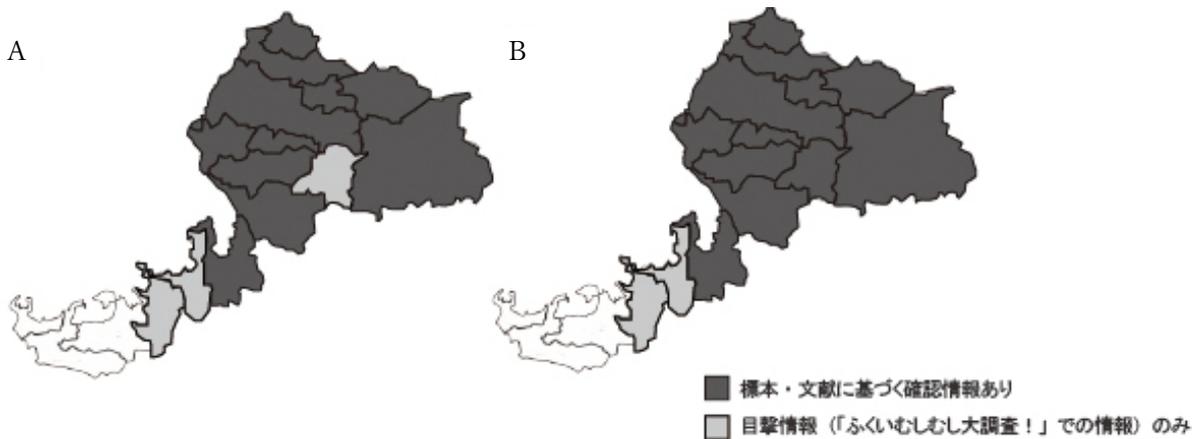


図6 シタバニハゴロモの分布確認地点の比較 (A : 2024 年, B : 2025 年).

かし、小浜市以西での本種の分布は依然確認されていない (図6).

内でも市街地を中心に本種の分布が広がっていることが窺われる結果となった。

(4) キマダラカメムシ

本種は、2019年に福井市内で採集されたのが県内初記録であり (梅村・利田 2020), 2024年の「むしむし大調査!」終了時には福井市内の市街地を中心に分布を広げていることが確認されたほか、鯖江市、越前市、勝山市と敦賀市での標本に基づく記録と、大野市、小浜市、高浜町での目撃記録があった (梅村 2025a). 2025年の調査では、大野市美川町三角公園で採集された標本が当館に寄贈されたほか、これまでに記録のなかった坂井市丸岡町楽間や、美浜町久々子での目撃情報が得られ (表1), 市町単位での分布確認地点が増加した (図7). さらに、2025年には越前市あおば町や国高町、勝山市旭毛矢町や昭和1丁目の勝山市立成器西小学校、敦賀市新和町、角賀町、みどりヶ丘町、山泉など、2024年の「むしむし大調査!」では目撃がなかった地点での情報も得られており (表1), すでに生息が確認されている市町

(5) ヒラズゲンセイ

本種は、2023年におおい町大島で確認されたのが本県での初記録である (斎藤ほか 2023). 2024年の「むしむし大調査!」では、県内での目撃情報は全く得られなかったが (梅村 2025a), 2025年には小浜市阿納尻の広域基幹林道での本種の目撃情報が得られた (表1). 本種は、赤く目立つ昆虫でありながら、活発に活動しないため発見される機会が少ないとされているが (斎藤ほか 2023), 今回の調査により、県内で分布を広げつつあることが確認された (図8).

(6) アカボシゴマダラ

本種は、2024年に大野市内で成虫の写真が撮影されたのが本県での初記録であり (梅村・村上 2025), 2025年から「むしむし大調査!」の調査対象とした. 2025年8月14日には、越前市片屋町での目撃情報が得られ (表1), この確認情報に基づき、翌8月15

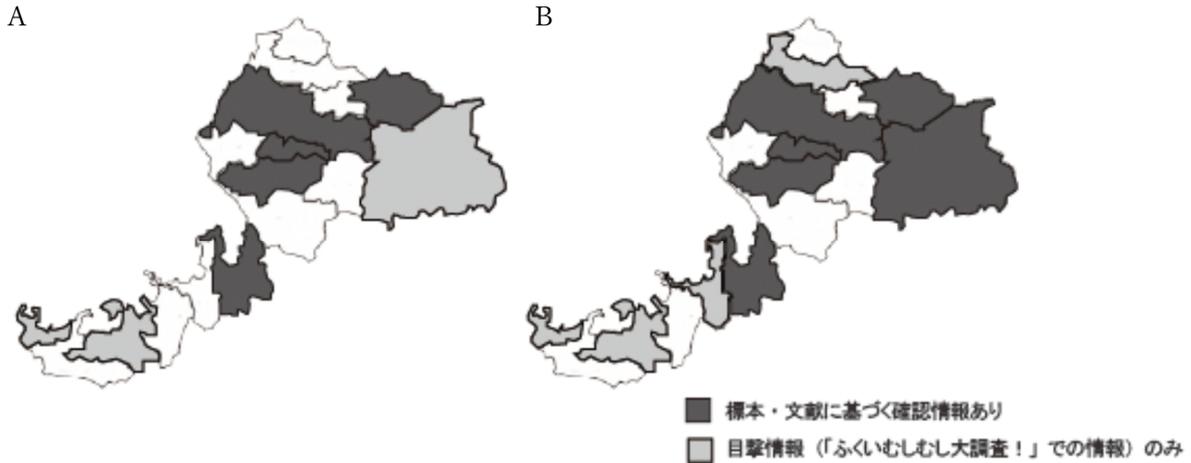


図7 キマダラカメムシの分布確認地点の比較 (A : 2024年, B : 2025年).

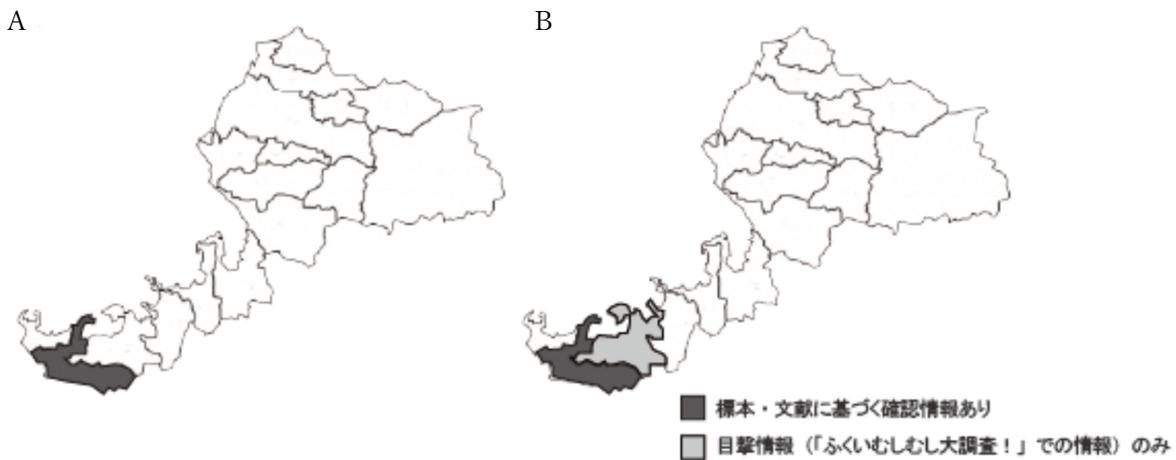


図8 ヒラズゲンセイの分布確認地点の比較 (A : 2024年, B : 2025年).

日に筆者が周辺にて調査を行ったところ、愛宕山山頂付近で1♂1♀が採集された(図12 FCMNH-38779, 38780). 筆者は、同所で10月1日にも本種1♂を採集している(FCMNH-39209). さらに、福井市杉谷町の城山において、2025年8月22日に本種の日撃記録が得られている. 本種は、意図的な放蝶により国内に導入されたと考えられており(多紀・自然環境研究センター2008), 本県への導入や分布拡大も放蝶による可能性が否定できない. 本種は特定外来生物にも指定されていることから(国立環境研究所 侵入生物データベース), 安易な放蝶は厳に慎まれるべきであり、今後も県内での分布拡大状況のモニタリングの継続が必要である.

(7) マツヘリカメムシ

本種は、高浜町(一瀬2021)における採集記録が報告されており、2024年の「むしむし大調査!」終了時には坂井市、福井市、大野市、敦賀市での標本に

基づく記録と勝山市、鯖江市での目撃情報があった(梅村2025a). 2024年の目撃情報が少なかったことから、本種は2025年の調査対象とはしなかったが、福井市新保町での目撃情報が得られた(表1). また、筆者は福井市両橋屋町の三里浜で2025年10月10日、24日に本種を採集している(FCMNH-39565, 39804). 海岸近くなど、マツ類の生育する環境付近ではすでに分布を拡大していると考えられ、本種の分布拡大状況についても引き続き注視する必要がある.

以上のように、2025年の「むしむし大調査!」では、アカハネオンブバッタの県内での急速な分布拡大、特定外来生物のアカボシゴマダラの分布拡大が確認されたのが特筆すべき点である. また、2024年の調査では確認できなかったヒラズゲンセイの分布拡大も確認され、すでに県内で分布を拡大しているキマダラカメムシの新たな市町での分布情報が得ら

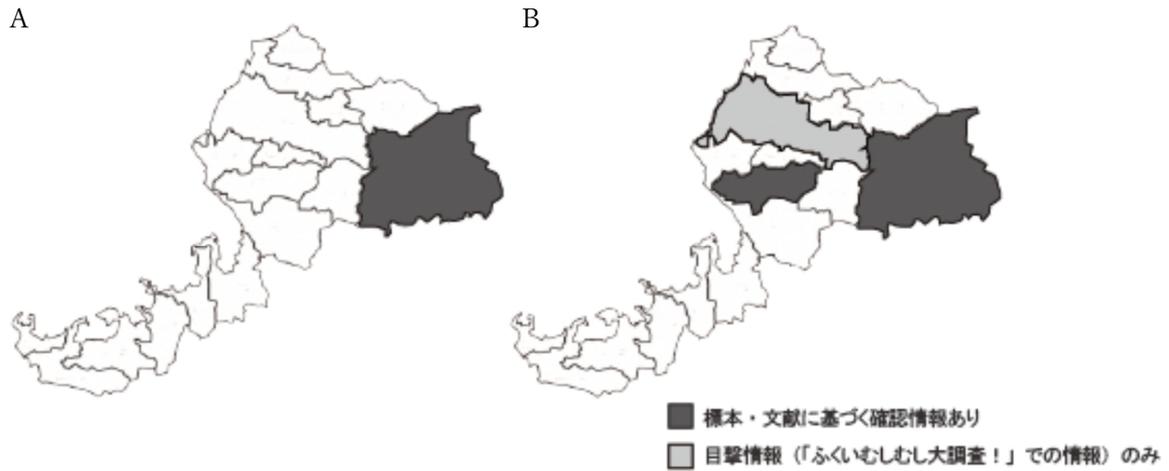


図9 アカボシゴマダラの分布確認地点の比較 (A : 2024 年, B : 2025 年).

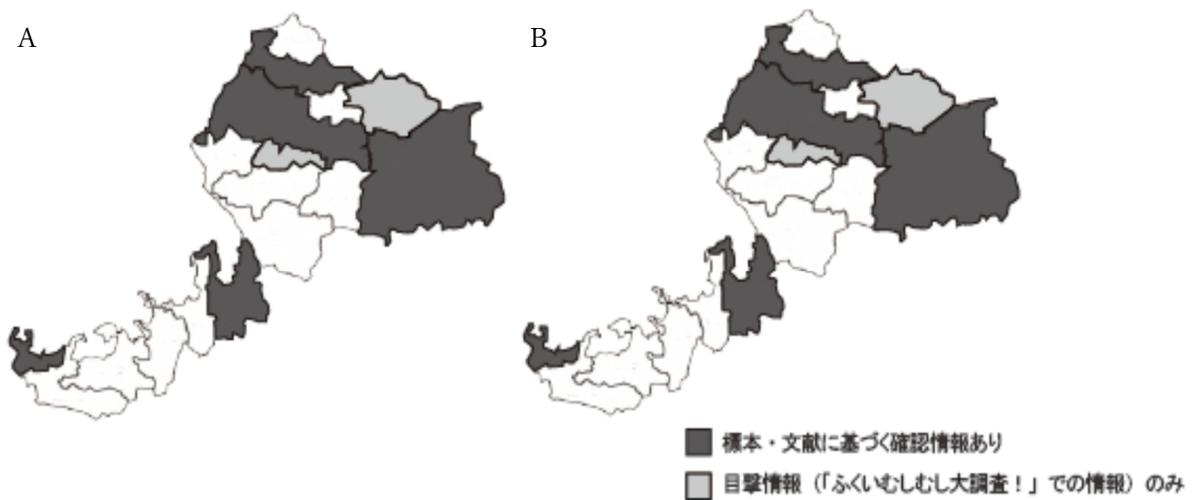


図10 マツヘリカメムシの分布確認地点の比較 (A : 2024 年, B : 2025 年).



図11 福井市丹鳥公園で2025年12月6日に確認されたアカハネオンプバッタ幼虫 (写真撮影: 佐藤星奈・佐藤 翠).

れたほか、ムネアカハラビロカマキリ、シタベニハゴロモ、マツヘリカメムシではすでに分布が確認されている市町内での新たな生息地の確認情報も得られた。今回は、2024年と違い、県内の自然関係施設や図書館でリーフレットを配布してもらうことはできなかったが、それでも福井市自然史博物館の講座受



図12 アカボシゴマダラ 越前市愛宕山, 15.VIII.2025, 梅村信哉採集・福井市自然史博物館保管 (FCMNH-JI38780).

講生やボランティアスタッフ、友の会会員を中心に多くの方に参加いただき、筆者一人では把握しきれない外来昆虫・暖地性昆虫の分布状況を市民の協力を得て情報収集することができた。

今回の調査では県内で確認されなかったものの、特定外来生物のクビアカツヤカミキリが2025年7

月 14 日に滋賀県長浜市で確認されており (<https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kankyoshizen/shizen/14005.html> 2025 年 12 月 23 日閲覧), 本県への侵入も時間の問題であると思われる。本種の県内での早期発見と防除のためにも, 県民が外来種やそれが引き起こす問題に関心を持ち, 多くの目で侵入を監視していく必要がある。市民参加型調査は, 研究者だけでは収集できないような広域・大量のデータを収集する上ではとても有効な手段であり, 市民参加型の調査法を体系化していくことが, 生物多様性を保全するために重要な役割を持つことが指摘されている(大澤ほか 2013)。福井市自然史博物館では, 2024 年度に笹川科学研究助成(研究番号: 2024-8009)を活用して外来昆虫の普及用貸出標本や解説タペストリー, ふくいの外来昆虫ハンドブック(梅村 2025b)などの教材を整備しており, 2026 年以降もこれらの教材を有効活用しつつ, 市民・県民への外来種問題の普及啓発を図りながら, 市民参加型調査を継続していければと考えている。

謝辞

「ふくいむしむし大調査! 2025」にご協力いただいた皆様に心よりお礼申し上げます。中でも, 猪尾隆之介氏には, 福井市, 坂井市の様々な地点で採集したアカハネオンブバッタの標本を寄贈いただいたほか, 八木正邦氏, 佐藤星奈氏と佐藤 翠氏には, 福井市内の定点におけるアカハネオンブバッタの観察に基づき, 本種の貴重な生態情報をご教示いただきました。特に, 佐藤星奈氏と佐藤 翠氏は, アカハネオンブバッタと在来種のオンブバッタのマーキング調査を 2025 年 9 月から 12 月まで 19 回にわたり継続されており, その探求心とご努力に心からの敬意を表します。

福井県自然観察指導員の会の斎藤寿子氏, 福井県立大学生物資源学部の深尾武司教授と角田智詞准教授には, 各会員, 学生に調査の周知をしていただきました。また, 富山県の桐山 哲博士と長野県林業総合センターの柳澤賢一氏には, リーフレット作成にあたり, 貴重な資料をご提供いただきました。福井県自然保護センターの大宮正太郎氏には, 本稿の投稿にあたり, 様々な便宜を図ってくださいました。これらの方々にも, 深くお礼申し上げます。

ふくいむしむし調査! ~昆虫の分布調査 in 福井 2025~ 調査協力者(名前の公表許可の確認がとれた方のみ掲載。五十音順, 敬称略)

跡部泰清, 天池柑奈, 天池駿弥, 天池雄二郎, 天野のり子, 伊藤宗矩, 猪尾隆之介, 大塚 稔, 大野智也, 岡田映子, 小寺由馬, 金田俊晃, 川崎英治, 川端康悞, 神戸正明, 斎藤寿子, 酒田 聡, 坂本千恵子, 佐藤星奈, 佐藤 翠, 柴田智広, 柴田充弘, 嶋田伊吹, 嶋田にこ, 定徳雅人, 陶山治宏, 高田昂実, 武田真澄美, 田野靖忠, 田村竜聖, 辻 則子, 出口翔大, 中嶋栄大, 中嶋千佳, 中田慎治, 平田長市郎, 前川晃平, 牧野憲昭, 松井敬大, 馬淵 碧, 三上八重子, 八木正邦, 吉川志穂, 吉川心乃祐, 吉定蒼太郎

引用文献

- 藤野勇馬・岩崎 拓・市川顕彦. 2010. 福井県敦賀市でハラビロカマキリ属不明種の成虫と卵囊を採集. 昆虫と自然 45(5): 32-34.
- 市川顕彦・河合正人・富永 修・伊藤ふくお・赤いはねのオンブバッタ調査会. 2013. アカハネオンブバッタを探しています. Nature Study 59(1): 5-6.
- 一瀬政人. 2021. 京都府綾部市, 福井県高浜町でマツヘリカメムシを採集. 月刊むし (610): 52-53.
- 上地健琉. 2022. 徳島県におけるアカハネオンブバッタの初記録. Niche Life 9: 19-20.
- 神吉正雄. 2019. アカハネオンブバッタとオンブバッタの生息状況 (1) - 芦屋市・西宮市・宝塚市南西部について - . きべりはむし 41(2): 16-22.
- 加納康嗣・河合正人・市川顕彦・富永 修・村井貴史. 2016. バッタ目 Orthoptera. 町田龍一郎(監修)・日本直翅類学会(編)日本産直翅類標準図鑑. 学研プラス, 東京. pp. 242-377.
- 環境省自然環境局自然環境計画課生物多様性地球戦略企画室. 2009. 侵略的外来種 生物多様性への脅威. 環境省自然環境局自然環境計画課生物多様性地球戦略企画室, 東京.
- 国立環境研究所 侵入生物データベース アカボシゴマダラ <https://www.nies.go.jp/biodiversity/invasive/DB/detail/60400.html> (2025 年 12 月 23 日閲覧)
- 松本吏樹郎. 2014. 近畿地方に侵入したアカハネオンブバッタ. Nature Study 60(5): 9.
- 大澤剛士・山中武彦・中谷至伸. 2013. 携帯電話を

- 利用した市民参加型生物調査の手法確立. 保全生態学研究 18: 157-165.
- 斎藤昌弘・小泉博美・梅村信哉. 2023. 福井県におけるヒラズゲンセイの初記録. 福井市自然史博物館研究報告 (70): 31-32.
- 茅田晃一郎. 2021. 敦賀市赤崎におけるシタベニハゴロモの初記録. 福井市自然史博物館研究報告 (68): 101-102.
- 多紀保彦(監修)・自然環境研究センター(編). 2008. 日本の外来生物. 平凡社, 東京.
- 田埜 正・黒川秀吉. 2017. タイワンタケクマバチ福井に住む (1). つねきばち (31): 31-44.
- 梅村信哉. 2025a. 福井市自然史博物館で実施した外来種, 分布拡大種の昆虫を対象とした市民参加型調査「ふくいむしむし大調査－昆虫の分布調査 in 福井」. Ciconia (福井県自然保護センター研究報告) 28: 77-86.
- 梅村信哉. 2025b. ふくいの外来昆虫ハンドブック. 福井市自然史博物館, 福井.
- 梅村信哉・伊藤勝幸・井上美代子・源野みね子・桜井知栄子. 2013. あわら市吉崎におけるシタベニハゴロモ *Lycorma delicatula* (White)の初記録. 福井市自然史博物館研究報告 (60): 67-68.
- 梅村信哉・利田悠真. 2020. 福井市内におけるキマダラカメムシの採集記録. Ciconia (福井県自然保護センター研究報告) 23: 39-40.
- 梅村信哉・小寺由馬. 2023. 福井市足羽山におけるムネアカハラビロカマキリの記録. 福井市自然史博物館研究報告 (70): 81-82.
- 梅村信哉・猪尾隆之介・藤野勇馬. 2025. 福井県内におけるアカハネオンブバツタの初記録. Ciconia (福井県自然保護センター研究報告) 28: 93-95.
- 梅村信哉・村上充伯. 2025. 福井県大野市におけるアカボシゴマダラの撮影記録. Ciconia (福井県自然保護センター研究報告) 28: 109-110.
- 鷲谷いずみ・村上興正. 2002. 日本における外来種問題. 日本生態学会(編)・村上興正(監修), 外来種ハンドブック. 地人書館, 東京. pp. 6-9.
- 山崎一夫・高倉耕一・今井長兵衛. 2016. 大阪湾南部におけるアカハネオンブバツタの侵入時期について. 環動昆 27(1): 17-20.